

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 ヘルスパイオニアタウン事業（インフルエンザ予防接種助成金）
-------------------	---

区分	番号	名 称
章	1	やさしさと共生するまち
節	2	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる
施策	2	保健予防活動の充実
小分類	1	成人及び老人保健の充実
主要な施策	1	各種検診の充実と受診率の向上
事務事業番号	007	事務事業コード 12211007 事業開始年度 平成 1 3 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	国民健康保険特別会計	予算書上の事務事業名	インフルエンザ予防接種助成金
------	------------	------------	----------------

部 名	保健福祉部	グループ名	国保・医療給付 G
-----	-------	-------	-----------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">（何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 65歳以上の登別市国民健康保険被保険者 ・ 60歳以上65歳未満の登別市国民健康保険被保険者のうち、心臓や腎臓、呼吸器、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障害を有する方（障害者手帳 1 級の方）
手段 （事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">（目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください）</p> <p>高齢者等のインフルエンザ予防を図るために、対象となる保険被保険者に対し、インフルエンザ予防接種の自己負担額を助成する。</p>
目指す姿 （成果）	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">（事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください）</p> <p>高齢者等がインフルエンザに罹患するのを防ぎ、罹患しても重症化するのを防ぐ。</p>
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください）</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	65歳以上の被保険者の内、5割以上の接種を目標とする。（上段は65歳以上の被保険者数の約5割、下段は接種者人数）	人	目標値	2,923	2,898	2,791	2,791	2,791
			実績値	2,897				
				目標値				
				実績値				

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業の 財源 内訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称 北海道国民健康保険調整交付金	千円	3,338	4,340	5,042	5,042	5,042	15,126
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称 国民健康保険税	千円	3,452	4,357	5,060	5,060	5,060	15,180
	一般財源	名称	千円						0
合 計				6,790	8,697	10,102	10,102	10,102	30,306
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	53	28			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	16	23			
			合 計		69	51			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について

今後も市が事業 主体として実施 していくことは 妥当ですか？	→	妥当である	→	妥当である理 由、妥当では ない理由は何で すか？	高齢者がインフルエンザに罹患すると、重症化し、生命の危機にもかかわるため、予防接種は妥当である。
		妥当ではない			

2. 事務事業の成果について

成果はあがって いますか？	→	成果があがっている	→	成果があがって いる理由、あが らない理由はな んですか？	予防接種を実施することで、インフルエンザへの罹患を防ぎ、仮に罹患したとしても重症化するのを防いでいる。
		どちらかといえばあがっている			
		成果があがらない			

3. 事務事業の成果向上について

成果を向上させ ることはできま すか？	→	大きく向上させることができる	→	どのよう にして 向上させ ますか？ 向上させる ことが できない理 由は何で すか？	広報で周知していく。
		少し向上させることができる			
		向上させることはできない			

4. 事務事業の経済性・効率性について

成果を落とさず にコスト（予算 や人工、所要時 間）を削減する ことはできま すか？	→	削減できる	→	どのよう な方法 でコスト を削減 しますか？ 削減でき ない理 由は何で すか？	本事業は、助成金に係る事務事業であるため、これ以上削減するとなると、対象年齢の引き上げあるいは自己負担額を増額させるなどの対応となるため、事業目的を達成できなくなると判断する。
		削減できない			

担当グループによる評価

維持	左記の評価 を選択した 具体的な理 由（根拠）	今後も必要な事業であり、現状の制度で維持していくと判断する。
----	----------------------------------	--------------------------------

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考	
----	----	--

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力的に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）